

県議選

新たな任期に気を引き締める

9日に投票された
県議会議員選挙(定数
44)に際し、このほど
県庁で県選挙管理委員
会の世古正委員長から
各立選者に当選証書が
付与された。
今回、東近江市日野
町愛荘町選挙区から初
当選した自民の谷成隆
氏(62)は当選証書を
受け取り「日野町から
やっと県議に議席を
取り戻せたのがうれし
い。今後、地域交通の
課題などの解決に力を
入れていきたい」と意
気込んだ。また3選を
果たした自民の加藤誠
一氏(69)は「初心に
帰りながらも、大胆に
新しいことに挑戦する
県政を目指す。2期目
の自民・本田秀樹氏
(56)は「2期目とい
うことで、もう一度、
地域の声を県政に届け
させていきたい」と
5期目の無所属・木沢
成人氏(50)は「活力
あるふるさと滋賀づく
りの基本となる人材育
成により力を込めた
い。3期目に臨む自民
の周防清二氏(64)は
「今回いただいた票の
重みを感じている。東
近江地域の発展のため
に少しでも寄与できれ
ば」と述べている。
今回の当選者の任期
は4月30日から4年
間となっている。



当選証書を受け取る谷氏

滋賀県平和祈念館

令和5年度 ご挨拶

滋賀県平和祈念館 館長 朝倉 敏夫

昨年4月に2代目の館長に就任し、一年が経ちました。この一年間、本館を多くの方に知っていただくためにどうしたらよいかを考え、今年度から「平和教養講座」を開講することにしました。

この講座は、①平和祈念館の展示の魅力向上、機能の充実、②県内での地域活動や国内外の平和祈念館等との交流・連携の強化、③平和祈念館のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進により、多様なニーズに対応、の三つの方向性により、県民のみなさんの満足度の向上と平和意識の醸成をはかっていくという、昨年度から始まった第三期計画を踏まえて、さまざまな角度から「平和について考える」ための講演と、「企画展」に関連する講演を、館外から講師をお招きして実施するものです。

4月から原則毎月第三土曜日の午後で開催します。8月は平和ウィークの行事、3月は開館周年記念の行事があるのでお休みです。

今年度の上半期は、4月15日に立命館大学の村本邦子教授による「戦争、こどもにどう話す」、5月20日に公益財団法人有斐斎弘道館代表理事の太田達さんによる「戦争の向こうに 一食文化における平和的創生バスク 近江を比較する」、6月17日に富山県立大学の濱貴子准教授による現在開催中の企画展「戦争と女学生」に関連する講演、7月15日に国立民族学博物館の宇田川妙子教授による「戦争と食と女性」という講演を用意しています。

秋からは、7月から開催する「中国大陸の戦争(仮題)」という企画展や12月から地域交流室で開催予定の「日系カナダ人」の展示に関連する講演などを予定しています。

「平和教養講座」は、ご多忙のなかを本館までご足労をおかけする講師の先生方のお力と、スタッフの協力がなくては実現できません。しかし、なによりも滋賀県の多くの皆さんに関心をおもいただき、講演会を聞いていただくことが励みとなります。

そして講演は、YouTubeで録画配信をいたす予定です。ちなみに本館のホームページも、この春から新しく更新されています。ぜひアクセスしてみてください。

新ホームページURL:

<https://www.pref.shiga.lg.jp/heiwamuseum/index.html>



←スマートフォンは、こちらから

東近江市下中野町431番地(☎0749-46-0300 FAX0749-46-0350)
入館料/無料 休館日/月・火曜日(祝日にあたる場合は開館)

滋賀農業公園ブルーメの丘

チューリップが見頃

職員総出で42品種12万本を植栽

滋賀農業公園ブルーメの丘(日野町西大路)でチューリップが見頃を迎えている。
今春のブルーメの丘は、冬期間平日を閉園し園内整備に注力したため、各所がパワーアップ。春々秋にかけず、いつでも園内で花を鑑賞できる。季節の花を順次植栽している。なかでも人気を集めるチューリップは職員総出で42品種12万本を植え、赤、白、黄、桃、橙、紫色の鮮やかな花畑が目を楽しませる。

同園によると、八重フリンツ咲きの「カール(赤系)」や百合咲きの「イニミダブル(黄系)」、八重咲きの「ホワイトバレー(白系)」、二色咲きの「オックスフォードエリート(赤・黄)」など珍しい品種を目当てに訪れる来場者もいるという。

同園は「色とりどりのチューリップがより一層映えるよう、今年度は『絶対に同じ色が隣にならない』をコンセプトに植栽した。ブルーメの丘の、絵本に飛び込んだような景観とカラフルなチューリップ畑の取り合わせを楽しんでほしい」と話していた。

同園の開園時間は、平日午前10時~午後5時、土日祝は午前9時~午後5時。水曜日半~午後5時。水曜日休園。入園料大人1500円、子ども(4歳~小学生)800円。問い合わせは同園(☎0748-521261)へ。



見頃を迎えた滋賀農業公園ブルーメの丘のチューリップ畑

いますぐ確認。あなたの備え。みんなの備え。

みんなで減災 あなたにもできる減災



やればできる! 減災
『減災』とは、災害後の対応よりも事前の対応を重視し、できることから計画的に取り組んで、少しでも被害の軽減をはかるようにすることです。わたしたち一人ひとりのちょっとした工夫、ちょっとした気づきが、災害被害を軽減する国民運動の原動力となります。みんなで力を合せて、地域の安全をより確実なものにしてゆきましょう。

知っておこう

- ◎想定される災害や周囲の危険な場所を把握しておこう。
- ◎災害の種類に応じた地域の避難場所を調べておこう。

決めておこう

- ◎災害用伝言ダイヤルなどを使った家族との連絡方法を確認しておこう。
- ◎高齢者や近所で助けが必要な人の避難方法を話し合っておこう。

やっておこう

- ◎家具の固定、水や非常食の備蓄、必要な薬の準備をしておこう。
- ◎地域で行われる防災訓練などに積極的に参加しよう。



建築設計事務所、土木、建築業
一般廃棄物
産業廃棄物収集運搬処理業

(株) 堤産業

〒529-1443 東近江市五個荘北町屋町
☎0748(48)3876(代)

新型コロナウイルス 県内陽性者数

新規		累計		
75		374,469		
総数		総数		
10歳未満	0歳	1	50代	8
	1~4歳	4	60代	4
	5~9歳	2	65~69歳	1
10代		6	70代	4
20代		14	80代	2
30代		12	90歳以上	2
40代		15	合計	75

死者 678 (+0) 病床数 371
 最大病床占有率 10.2%
 直近1週間と先週1週間の陽性者の比較 多い
 (4月13日16時00分現在)



見頃を迎えた滋賀農業公園ブルーメの丘のチューリップ畑

「黄色系」の八重咲きの「ホワイトバレー」(白系)、「二色咲きの「オックスフォードエリート」(赤・黄)など珍しい品種を目当てに訪

【日野】 滋賀農業公園ブルーメの丘(日野町西大路)でチューリップが見頃を迎えている。今春のブルーメの丘は、冬期間平日を閉園し園内整備に注力したため、各所がパワーアップ。春から秋にかけてはいつでも園内で花を観賞できるよう、黄、桃、橙、紫色の鮮やかな花畑が目を楽しませる。同園によると、八重咲きの「カタル」(赤系)や百合咲きの「イニミダブル(黄系)」、八重咲きの「ホワイトバレー」(白系)、「二色咲きの「オックスフォードエリート」(赤・黄)など珍しい品種を目当てに訪

チューリップが見頃

滋賀農業公園ブルーメの丘

職員総出で42品種12万本を植栽

家・土地 買・売
 KAKIYA 不動産
 多客ご相談ください! (株) 兼業 稀屋
 0120-338-336

正社員 & パート
 ルームメイク 清掃
 朝食スタッフ 早朝業務
大募集!
 ビジネスグリーンホテル日野
 蒲生郡日野町松尾2丁目16
 自分合うステージの前に!
 まずはお電話ください!
 TEL.0748-25-0002

同園は「色とりどりのチューリップがより一層映えるよう、今年には『絶対に同じ色が隣にならない』をコンセプトに植栽した。ブルーメの丘の、絵本に飛び込んだような景観とカラフルなチューリップ畑の取り合わせを楽しんでほしい」と話していた。

同園の開園時間は、平日午前10時~午後5時、土日祝は午前9時半~午後5時。水曜日休園。入園料大人1500円、子ども(4歳~小学生)800円。問い合わせは同園(☎0748-52-2611)へ。

いきいき健康

アサリは健康食

が衰えている人に役立つ。

しかも血管内に危険な血栓ができるのを予防する働きもあり、リウマチ、喘息、アレルギーにも有効。もうひとつの特徴はビタミンB12の含有量が魚介類のなかで最高なこと。

潮干狩りのシーズン到来。潮干狩りの人気者といえばアサリ。

最近はややダイエットのために栄養が偏り、障害に悩む人が増えている。

栄養のかたまりで、動脈硬化、肝臓の解毒、リウマチや喘息、アレルギーなどに効果がある。

アサリは栄養価が高く低脂肪、低カロリー。嬉しいのは食べておいしい。それも和食にも洋食にも中華にも調理できる。「体重が増えた」と嘆いているあなた。気軽にダイエットに活用できる栄養素材だ。

タウリンの働きは血液の中の余分なコレステロールを排除して血液の濃度を下げ、動脈硬化を防ぐ。

また肝臓の解毒作用を助け、肝機能が正常に働くのを助ける。



みどりの月間

期間:4月15日~5月14日

国民の祝日である「みどりの日(5月4日)」についての国民の関心と理解を一層促進し、「みどり」についての国民の造詣を深めるため、毎年4月15日から5月14日を期間とする「みどりの月間」が設けられています。

きれいな空気、おいしい水、心身の癒し、地球温暖化の防止など、森林はわたしたちの豊かな生活を支え、多くの恵みを与えてくれます。しかし、いま国内では手入れ不足等によって森林が本来のはたらきを発揮できていません。また、砂漠化等による地球規模の森林の減少・劣化もいまなお続いています。そのため、森林を整備したり緑を増やすことを農山村の人々や専門家に任せただけでなく、一人一人が森林や緑を自分たちの共通財産と考え、それぞれの立場で、可能な方法で、森づくりへ参加することが期待されています。



緑の募金

皆様の深いご理解とご協力をお願いします

新緑がまぶしい季節を迎える中、この「みどりの月間」は、特に国民が「みどり」を意識しやすい時期でもあります。地球温暖化や生物多様性などの環境問題が人類共通の課題となっている今日、私たちの暮らしを支える、かけがえのない緑や森林を守り育てるため、緑の募金活動が全国各地で積極的に展開されます。緑や森林を守り育てる緑豊かな国土の形成・保全に積極的に取り組んでいるところであり、多くの国民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

募金の使い道

- ◇森づくりイベント等を実施し、県民参加の森づくりを推進します。
- ◇水源となる森林を整備するとともに、苗木を配布して森づくりを推進します。
- ◇森林ボランティア団体の活動を支援し、森林整備を促進します。
- ◇花とみどりの少年団活動を支援し、少年団活動の強化を図ります。
- ◇緑化行事や緑化ポスターコンクール等を開催し、緑化の普及啓発に努めます。
- ◇地域の緑化事業を支援し、緑化活動を推進します。

朝日・日本経済・毎日・京都

(有)野田新聞舗

東近江市八日市東浜町5-4 電話 0748 (22) 0172

読売新聞・報知新聞・産経新聞

読売センター八日市

東近江市八日市清水3丁目1-17 電話 0748 (22) 2294

中日新聞八日市専売所

高木新聞店

東近江市幸町2-26 電話 0748 (22) 1541

読売新聞・スポーツ報知

読売センター永源寺

東近江市永源寺高野町329 電話 0748 (27) 1180

折込広告は必ず午後3時迄にお持込み下さい。*それ以後のお持込みは2日遅れになります。予めご了承下さい。